

第三回運営推進会議議事録

作成日:令和5年11月3日

事業所名	デイサービスるぴなす		
開催日時	令和5年10月26日	開催場所	デイサービスるぴなす
作成者	管理者・生活相談員:川淵 優希		
参加者	地域包括支援センター:1名、地域住民代表:1名(安井地区民生委員)、ご利用者:2名、ご利用者家族:1名、職員4名(計9名)		
議題	1. 参加者自己紹介 2. 事業所、活動内容紹介 3. 利用者様家族様からの要望及び苦情などに関する報告 4. 参加者様からのご意見 5. まとめ		

議事内容

《運営状況》

- ・管理者兼生活相談員:1名、介護職員:5名(非常勤:3名)
看護師兼機能訓練指導員:2名、ドライバー:1名
- ・営業日時:月~土(日定休日)8:30~17:30 年未年始12/30~1/3 休み
- ・サービス提供時間:9:15~16:30

《サービス内容》

特徴

- ・アロマケア:不安やストレスを和らげるために行っている。認知症の方や冷えや浮腫のある方を主に行っている。
- ・お出かけ等のイベント:好評なイベントの一つ。毎月近隣へお出かけへ行っている。外へ行くことで歩く、立つことに対して意欲的になるご利用者も多数いる。
- ・個別訓練:個別に応じた訓練を行なっている。失語症の方にはカード訓練等、小規模だからこそ密な訓練を実施できている。
- ・音楽健康指導士が月1回程度口腔機能の向上を目的として、音楽での体操等を実施。

《活動状況》

- ・近隣の清掃活動をご利用者と共に実施している。
- ・毎月るぴなすレター(広報誌)を発行し地域のケアマネージャー様へお配りしている。
- ・前回アロマ体験会や講義を行なう案を頂いたが、職員体制等の兼ね合いから実施に至らず。来年度中には行なう前提で計画していく。

《利用状況》

- ・31名利用中(男性12名、女性19名)。週2~4の利用頻度。1日定員18名に対し1日10名程度。ケアマネージャーからの紹介が主。
支1:3 支2:2 介1:12 介2:6 介3:5 介4:3 介5:0
- ・20居宅介護事業所と連携。

《ヒヤリハット、事故報告》

毎月ヒヤリハットを提出し再発防止策まで検討し実施。事故はなく経過中。

《職員の研修状況報告》

- ・ご利用者も増加し、職員も増えた為月に1回研修を行っている。また毎月ミーティングをし、利用者様の状況やケア内容、運営について話し合い、より質の高いケアを提供できるよう努めている。

《感染対策》

- ・送迎時窓を少し開け換気を実施
- ・手指消毒の実施
- ・共有物(マシン、食器、手すり等)の消毒
- ・職員、ご利用者のマスク着用
- ・室内換気として入口、窓の解放
- ・パーティション設置継続
- ・来所時バイタルチェック、体調確認

《利用者や家族からの要望及び苦情などに関する報告》

○事前アンケート(ご家族)

- ・一日の流れを詳細に記していただき様子が分かって安心している。これから気候も良くなりお出かけの機会を増やして頂けたらと思います。
- ・杖を突いて歩くことが少しずつ減って杖なしで歩くことが多くなりました。
- ・喜んで行かせてもらっています。

《参加者様からのご意見》

- ・**ご利用者より**:いつもよく気付いてくれるし、いろんな事ができるから楽しいよ。
お出かけは普段なかなかできないから皆楽しみにしています。
- ・**ご家族より**:いつも細かく見て頂いて、本人もるぴなすさんへ行くと元気ができるようです。色々なことを企画していて、スタッフさんがしっかり休めているのか心配になるほどです
- ・**事業所より**:スタッフはしっかり休んでもらっています。残業も殆どありませんのでご安心ください。若いスタッフも多く、流行りの事をイベントに盛り込んだり色々利用者様が楽しめる事を考えてくれています。

《事業所より》

(1)ご利用者で常時徘徊のある方がいる。デイサービスの利用日でない日も荷物をもって徘徊されている。その方の地域には近所で認知症をサポートするグループがあるようで徘徊時にまめに声掛けをしたりと活動されている。この地域でもそのような動きはあるのか。

- ・**地域包括支援センター**:大体は地域の方や知人、友人、警察から徘徊についての連絡は入るが、地域として具体的に取り組んでいることは聞かない。別の地域では衣類等につけるお名前シールがある。福祉用具で靴につける GPS も活用できるのでは。
- ・**地域住民代表**:地域の方のお困りごとなどは定期的に訪問して聞いているが、徘徊についてはあまり聞くことがない。認知症サポーターという言葉も初めて聞いた。市役所で講座があるみたいですね。
- ・**事業所より**:るぴなすは認知症の方が多いので、事業所としては認知症の方でも自宅で過ごす為に地域で支えられるような取り組みができればという思いがある。そのプラットホームになればと思うのでそういった取り組みも模索していく。

(2)毎月来ていただいている音楽健康指導士の取り組みを広げていきたい。高齢になると口腔機能が低下し肺炎のリスクにも上がる為、地域の方の為にもなるのでは。

- ・**地域住民代表**:第四火曜日にふれあいサロンがありますので、音楽健康指導員の方にぜひ参加して頂ければと思います。

※参考資料:音楽健康指導士新聞や和泉市でのイベントチラシ

次回、令和6年4月中旬開催予定